

平成30年度南予地方局予算の実施状況（H31.3.31現在）

- 1 予算事項名 食用ホオズキの郷づくり事業費
- 2 事業期間 平成29度～令和元年度
- 3 所 管 産業経済部産業振興課地域農業室
- 4 事業概要

鬼北地域では、「鬼」にちなんだ食用ホオズキの栽培が試みられ、いやしの南予博でのPRイベントも好評であったが、地域に合った品種や栽培技術が確立されておらず、消費者の認知度も低い。

そこで、振興組織を設けて、機能性を活かした戦略を検討し、品種選定や技術実証を行い栽培マニュアルを作成する。また、PR活動や加工品開発を推進して、農業経営の補完や地域活性化に寄与する新たな地域特産品として育成し、地域の活性化を図る。

	平成30年度
予算額	948千円

5 30年度の事業実施状況

(1) 食用ホオズキの生産振興

①食用ホオズキ推進協議会の活動(H30.9.21)

- ・構成メンバー(食用ホオズキ生産者代表、松野町、鬼北町、JAえひめ南、南予地方局担当者)による推進方針や独自支援策等の実施状況や栽培状況について情報交換。
- ・東京農工大との連携事業(鬼北町事業)による現地調査及び意見交換(H30.9.10)の支援。
- ・大阪の飲食店に対して生食用サンプルを持ち込み、品質や今後の供給方法など取り扱いに向けて意見交換を実施。(H31.3.18~19)



東京農工大との意見交換(H30.9.10)

②成分分析の実施

- ・食用ホオズキの収穫時期別での栄養成分分析を実施し、時期別販売計画等の参考とした。

(2) 食用ホオズキ栽培技術の実証

①技術実証圃の設置

- ・食用ホオズキの抑制栽培(10月定植、3月収穫)を実証(農業公社施設)し、新たな害虫“タバココナジラミ”への対策など施設栽培における課題が明らかになったこと



生食用サンプル

から、対応策について栽培マニュアルに記載。

来年度は、生産者及び鬼北農林公社でさらに面積を拡大する意向。



施設栽培実証

(3) 食用ホオズキ広報・加工事業

①広報活動支援

- ・地元小学校へのプランター苗配布 (H30.7.18~19)

食用ホオズキを知ってもらうため、鬼北地域の小学校8校に、苗を植えたプランターを配布した。あわせて、産直施設モニュメント前にも設置して、施設来場者に食用ホオズキをPRした。

小学校では、期間中に収穫できたホオズキを小学生や教員が試食し、認知度を向上することができた。

泉小学校では、校外学習で食用ホオズキの栽培について、実証圃場(鬼北農業公社)で研修を行った。

- ・鬼灯まつりの開催 (H30.9.1)

地域への食用ホオズキのPR活動として地域活性化グループ(鬼北発掘隊)と生産者が協力して「鬼灯まつり」を直売施設で開催し、ホオズキや加工品を販売した。

行政関係者のほか、町内団体等多数の支援を受け、地域での食用ホオズキの認知度UPを図ることができた。



第4回鬼灯まつり-灯の祭典-30.9.1)
ホオズキや加工品を購入するなど魅力をPRした



鬼のモニュメント前でホオズキをバックに来場者が記念撮影
鬼灯=鬼=鬼北のイメージPR